



コミュニティ だより あけぼの

平成 22 年 3 月 1 日現在	
人 口	15,281人
男	7,597人
女	7,684人
世帯数	5,187戸



祝成人

平成二十二年二月十日(旧)午前十時から六合公民館にて「島田市成人式(六合中学校区)」が行われました。

今年の六合地区の新成人は、男九十三名、女九十八名計百九十二名で、式には男七十名、女六十九名計百三十九名が出席されました。

励ましの言葉

「若き日に薔薇を摘め」という諺(ことわざ)を御存知でしょうか。

薔薇を摘むと棘が刺さって、痛みと共に血が滲みまします。でも、若い人はすぐに治るのだから、怖がらずに何でも手を出してみなさい。挑戦してみなさいという意味です。

「若さ」は、誰にでも、一度は与えられる特権、「失敗が許される」という特権。しかし、これを誤解して「世の中は甘い」と考えたら人生をしくじります。甘いから許してくれるのではなく、若いときは失敗を成功に変える可能性があるから許されるのです。

時代の変わり目に大人の仲間入りをされた皆さんには、社会がどのように変化しようとして、時流に流されず、人に流されず、自分の将来像をしっかりとイメージして強い意志と希望をもって、御自分の人生を切り拓いていただきたい。

そのためには失敗を恐れず多くの経験を積み、人とかかわりをもたねばなりません。苦勞知らずの人生では「幸せ」の価値もわかりません。「若き日に薔薇を摘め」とはそういうことです。

失敗を含めて多くの経験を積み、自己研鑽に励み、夢に挑戦して、「自分らしさの花」を見事に咲かせてください。

染谷絹代 島田市教育委員



文化祭



平成二十一年度六合コミュニティ文化祭が十月十七日(土)・十八日(日)の両日に行われました。今回は、昭和四十七年より三十数年にわたり展示会場となっていた旧コミセンに別れを告げ、六合小体育館北側に建てられた新公民館・ロクティで開催する初めての文化祭となりました。

文化部では展示部門の割り振りについて事前に検討を重ねていましたが、本年度は出展数も多く予定通りに新会場へ収まるのか、開催日当日まで不安で仕方ありませんでした。しかし蓋を開けてみれば参加団体の皆さんの手際のない会場設営で、開始一時間前にはほぼ準備を整えることが出来ました。

例年通り体育館には園児・児童のいきいきとした絵や工作が所狭しと並べられ、ロクティの各部屋には出展者の方々が手塩にかけた美しい作品、力強い作品、精緻な作品の数々が揃い、また軽食・喫茶コーナーやロボットを操る高校生、ボランティアの中学生もコミュニティの文化祭に相応しい雰囲気をおおいに盛り上げてくれました。

そして土曜午後の開始以降は日曜も終日、会場は六合地区の大勢の皆さんで賑わい、其々の作品の完成度の高さに驚いたり、感心したりする人々の姿があちらこちらで見られました。



また日曜午後からの芸能発表では、園児たちの屈託のない明るい笑顔に癒され、お歳を召した出演者のパワーに圧倒され、さらに用意した座席を大幅に上回る立ち見のお客様に囲まれた六合中吹奏楽部の演奏に感動し、部員でさえ舞台の袖にしながら大事な運営を忘れそうになるほどでした。

歴史あるコミュニティの文化祭という地域交流の場に、直接関わることができたのは誇りであるとともに今後は反省すべき点・課題を含めた本年度の経験を、次年度の改善に活かせる様徴力ながらお手伝い出来ればと思います。

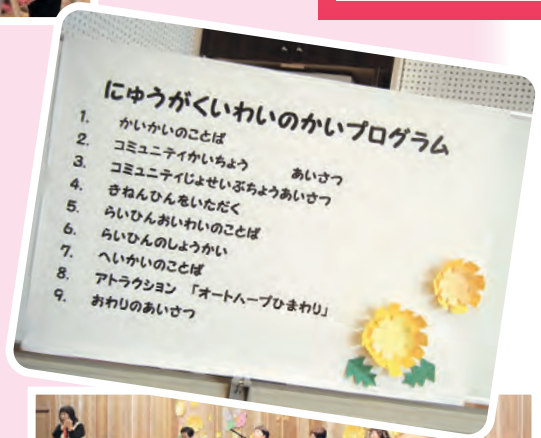
最後に、展示や芸能発表に参加してくださった子供たちや先生方・各団体の皆さん、二日間にわたって交通整理をしてくださった交通安全部の皆さん、準備と運営に多大なるご協力をいただいた公民館職員の方々や本都役員・職員・部員の皆さん、そして何よりご来場いただいた大勢の六合地域の皆さんに心より御礼申し上げます。



入学祝いの会

二月十四日(日)、六合公民館「ロクテイ」多目的ホールにおいて平成二十二年
度四月の入学児童百四十六名を対象にした、入学祝いの会が行われました。

大勢の子供たちが集まり楽しいひとときを過ごしました。特にオートハープ
『ひまわり』の皆さんによる演奏が印象に残りました。



初詣



平成二十二年元旦。風花の舞う寒さの厳しい年明けとなりました。六合駅前の八幡神社は朝早くから初詣をする人たちが賑わい、御神酒や甘酒が振る舞われ、お正月の活気ある風景が見られました。

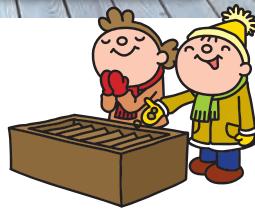
家族みんなが健康で元気に
過ごせますように。(母)

勉強をがんばる。(小3 兄)



小学校に入学するので勉強を
がんばる。(幼年長 弟)

健康第一。
けがのないように。(父)



インディアアカ大会

平成二十二年二月七日(日)、六合コミュニティ主催のインディアアカ大会が六合小学校体育館にて行われました。今年の参加選手数は三十九人で、和やかな雰囲気の中にも真剣なプレーが随所に見られ、体育館は熱気に包まれました。結果は次の通りです。

順位	Aブロック	Bブロック
1 位	ポバイと仲間達(道悦)	岸町ウインズ(岸町)
2 位	ケンチャンズ(東町)	東雲(東町)
3 位	東風(東町)	岸町チャレンジャー(岸町)
4 位	岸町ジーバ(岸町)	岸町コスモス(岸町)

消防出初式

新年恒例消防出初式が一月四日(月) 島田球場において行われました。その後島田駅前よりプラザおおるりまでパレードにて移動し、表彰式が行われ地元四分団から十六名が表彰されました。



静岡県消防協会会長表彰

功労章

部長 園田孝寿
班長 高田浩嗣

十五年勤続功労章

部長 園田孝寿
班長 高田浩嗣

十年勤続功労章

班長 桜井一範
班員 鈴木成彰

班員 松野友宏

班員 増田喜久

静岡県消防協会志太支部長表彰

特別功労章

班長 粕谷利明
班長 曾根一也

功労章

班員 山本邦喜
班員 杉村誠広

班員 大石貴文

五年勤続章

班員 藤井克弘
班員 松浦智一

班員 杉村朋巳

班員 大塚章生

消防団団長表彰

優良団員章

団員 櫻井雅尚

子供消防



「防犯・防火」の体験学習の一環として、六合小学校・六合東小学校の児童が三人一組で火の用心を呼びかけてくれました。ストーブ等、暖房器具の取扱いや火元には十分ご注意ください。



六合 いきいきクラブ大会

六合いきいきクラブ大会が平成二十一年十一月十五日(日)に六合小学校体育館で行われました。

秋晴れの中、百四十一名という昨年を上回る大勢の参加がありました。

大会ではコミュニティ会長と老人部長のあいさつ、大塚明様による老人クラブの運営についての講演、六合交番の上原交番長による交通事故・振り込め詐欺等お年寄りの身近にある危険について、お話を頂きました。

午後からは各クラブの普段の練習の成果が発揮された発表があり、楽しい大会となりました。



親子凧作り・凧揚げ大会



毎年行われていたレク部主催の「親子マス釣り大会」が今年も新型コロナウイルスの影響で実施できず、代わりに二月七日(日)約六十名余の親子の参加を得て、「親子凧作り・凧揚げ大会」を実施しました。

当日はロクティの多目的ホールにブルーシートが敷かれ、参加した親子は思い思いの絵を描いて、立派な凧を完成させました。



その後、移動して東町大井川河川敷グラウンドで、雲つない大空へ凧を高く揚げて、楽しいひとときを過ごしました。温かい甘酒のサービスもあり、心も体もほかほかになりました。

澄みきった青空に浮かぶ凧や、家族と笑顔で凧揚げをしている様子を見て、これがコミュニティかな、と感じた二日でした。



参加者の声

普段孫とふれあう機会がないので、今日は来てよかった。自分の思うような絵が描けなかった。楽しかった。また来年やったら来たい!

(おじいちゃん・おばあちゃん・小3女の子・小1男の子)

凧を作ったのは初めて。ちょっと失敗したけど楽しかった。凧がうまく揚がるか不安だったけど、よく揚がった。お母さんでも凧作りができてよかった。

(お母さんと小3女の子)